

第5期 令和3(2021)年度 新宿区多文化共生まちづくり会議 第4回 第1部会 議事概要

日 時 2021年11月2日（火）10:00～12:00

場 所 区役所本庁舎6階 第4委員会室

出席委員 毛受委員、郭委員、李委員、金（勲）委員、ブサン委員、ドゥラ委員、江副委員、盛委員、  
タイン委員、本多委員 10名

欠席委員 小林委員、松田委員、レックス委員、朴委員、安藤委員、井上委員 6名

1 開会

2 議事

（1）前回までの進捗

事務局から報告があった。

（2）効果的な発信方法について

区の外国人人口の推移及び情報発信の現状について、事務局から説明を受けた。その後、効果的な発信方法について審議を行った。

- ・留学生は、気になる人は人に聞いたりせず携帯やパソコンで調べてしまう。現実と照らし合わせながら議論したほうがいい。
- ・情報を求めている人たちに対して提供するのか、求めていない人たちに取得を促すのかという視点を持つ必要がある。
- ・情報を欲していないけれども何も知らない人たちがいるとしたら、その人たちが手薄になってしまう。
- ・これから日本に来る留学生は2年ほど待っている状態。この間、日本の情報を収集したり日本語を学んだりしていると思う。
- ・これから入国する留学生には、住まいに関する情報をSNS等で発信する。区役所の窓口では現在行っている情報提供を継続する。
- ・留学生が日本に来た当初は、住まいを借りられるまで知り合いが自宅に住まわせてあげたり、手続きのサポートをしてあげたりしていた。コロナのためにサポートする人が減っている。同国人が一人でもサポートしてあげると良い。
- ・コロナの状況が落ち着いて来ている中で、止まってしまっている地域コミュニティをどうしていくのか、日常を取り戻すためにどうしたらいいかを考えていくチャンスであり、私たち自身の課題だ。
- ・新宿区は情報は揃っているが、ありすぎると結局見ないことになる。必須の情報、一読すればよい情報、じっくり読むべき情報などに分けると良い。
- ・留学生が増えてくるとすれば、そのことを不安に思う日本人がいる可能性があるため、国や学校、

新宿区が行っている情報提供の状況を日本人に伝えていく必要がある。

- ・ 韓国人向けのSNSとしては、韓国人が多く使うカカオトークでも情報発信をすると良い。
- ・ 区役所が閉まっている時間帯でも情報を受け取れる無人コーナー的なものがあるとよい。
- ・ ちょっとした疑問には、住んでいる人同士のコミュニケーションの中で答えてもらうのが、社会というものだと思う。
- ・ 何が必要なかはその人が調べるべきだが、大事な情報、これだけは覚えておいて欲しいということは、翻訳して出すべきである。
- ・ 最近はTicTokを使っている。使用する媒体も変わっていく可能性がある。
- ・ 外国人に向けて情報を発信しているメディアに新宿区のフェイスブックのQRコードを掲出するなど、協力して情報発信すると良い。
- ・ ネパール人向けにはネパール料理のお店に新宿区の情報サイトのサイトにたどり着くQRコードを掲示してもらうのが良い。
- ・ 新宿の韓国の商店は、商工会があるので、商工会を通じて情報を配れる。
- ・ コロナのために入国後隔離生活をおくる場合、日本語を勉強する時間がたっぷりある。隔離期間が有意義な時間になるように、国と区が連携し、外国人が資料をみられるシステムになればいい。
- ・ 日本語の情報はアプリを使えば外国語に翻訳して読めるので、動画や写真など一目で伝わるものが重要である。
- ・ メルマガやフェイスブックなどのSNSから、いい情報が定期的に届くが、頻繁だと見なくなるので、例えば月2回程度などの頻度で届くと良い。
- ・ ベトナム人やネパール人はフェイスブックを活用する。
- ・ 有料になるが、フェイスブックでは特定の年齢層や国の人だけに情報を出すことができる。
- ・ 中国の留学生は、ウィーチャットを使っている。

### (3) 中間のまとめについて

事務局から、中間のまとめ骨子（案）について報告を受けた。その後、今後の審議について委員から意見が出された。

- ・ それぞれの国の人々が、ユーチューブで一番大事なポイントを自分の国の言葉で伝えると継続してみようと思う。同じ国の人々の映像なら受け入れやすく、親切さもより伝わると思う。毎回できなくても、大事なポイントだけでもやると、とても助かると思う。
- ・ 今、多くの人々がZOOMを使っているので、語学をZOOMでやれば活用できる人も出てくる。
- ・ これから入ってくるのは留学生がほとんどで、日本語を勉強しているとすると、より具体的に新宿で生活するための情報提供が大切になる。外国人の受け入れ体制を整えることが必要である。
- ・ 今後は、新しく入ってくる留学生をはじめとする人たちへの効果的な情報発信やICTを活用し

た日本語で備えている機能の活用、コロナが続くと思われる中で外国人が入ってくる状況を日本人にも理解してもらえるような情報発信の方法を考えていくのはどうか。

(4) 次回の日程

事務局から次回会議の日程（2021年12月24日開催予定）について、説明を受けた。

3 閉会